

プロジェクト課題活動実績

課題名：防府大道地区の集落営農法人等の生産体制強化

山口農林事務所農業部 チーム員：芦沢 森重 中谷

<活動事例の要旨>

法人経営の収益性を改善するアイテム創出に向け、（農）Aにおいて水稲ひとめぼれの早期栽培技術とたまねぎの簡易調整出荷体系の確立に向けた支援を行った。

また、（農）Sがほ場整備工事完了に伴う経営規模の拡大に応じた機械装備が困難なこと等を踏まえ、他2法人との機械利用連携や水稲作付品種の調整を支援した。

1 普及活動の課題・目標

米価下落傾向の中、集落営農法人の経営基盤を確保するため、結びつきのある米及び野菜の取組拡大が求められている。また、機械利用の共同化によりコスト低減を図り、経営の健全化を進めることも求められている。

防府大道地区の3法人では、水稲、小麦、たまねぎを中心とした経営を展開しているが、水稲やタマネギの収量が安定せず品目別にみた収益が低いことから、改善に向けた技術確立を図る必要がある。また、法人間の機械利用連携により、低コスト化も実現する必要がある。そこで、各改善項目について別表のとおり目標を定めて活動。

2 普及活動の内容

(1) ひとめぼれの早期栽培技術の確立

- ・生育調査に基づいた栽培管理指導の周知徹底を行い、収量品質を確保
- ・次年度販売計画及び他法人への拡大推進

(2) たまねぎ簡易調整出荷体系の確立

- ・規模拡大用ほ場確保に向けた土壌調査
- ・新たな販売先に対応した栽培体系の提案
- ・適期管理の励行に向けた巡回指導

(3) 法人間連携の推進

- ・機械利用共同化検討のため、機械稼働実態把握と改善点協議支援
- ・ライスセンター稼働円滑化を念頭においた作付品種構成の改善点協議支援

3 普及活動の成果

区 分	項 目	目 標	成 果	備 考
技 術 的 支 援	早期ひとめぼれ生産量	18t	22.6t	—
	早期ひとめぼれ面積	4.0ha	5.1ha	—
	たまねぎ面積	1.2ha	1.0ha	極早生品種で簡易調整集荷予定
法人収益の向上	新たな販売形態	1	—	—
法人間連携	法人を核とした情報交換	3回	2	H28活動支援

4 今後の普及活動に向けて

水稲、たまねぎについて経営改善に向けた提案を行ってきたものの、現状維持のままとなった。しかし、(農)Sの水稲作付規模に併せ、他法人からコンバインの貸し出し支援が必要であることが理解されたことから、平成28年度はその利用調整が必要である。特に利用にあたってのルールを新たに作成し、その円滑な実践に向けた支援をJA防府とくちと共に行っていく。